

＜新型コロナウイルス感染症対策＞

春季～夏季

①感染源を絶つ

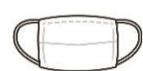
- 発熱等の症状がある場合は自宅で休養する（出席停止）
 - 登校時の健康観察、1日を通しての健康観察を徹底
- ※児童の在校時間内に感染の連絡が入った場合は、できるだけ早期の下校を検討する。児童の在校時間外に感染の連絡が入った場合は、教育委員会、保健所と相談し、臨時休業等の判断をする。

②感染経路を絶つ

- 飛沫感染…咳エチケット（マスクの着用）、ソーシャルディスタンス
- 接触感染…手洗い、消毒
- マイクロ飛沫感染…換気、近距離での会話・発声、大声に注意

③抵抗力を高める

- 十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事



具体的な対策



学校生活（各教科共通）

換気	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室、特別教室ともに対角の窓を常時、少なくとも10cm～20cm開けておく。 ・エアコンがついている場合は、常時10cm～20cm開けておく。 ・掃除の時間は、エアコンがついていても一斉換気をする。 ・夏季は扇風機をつけておく。 <p>※エアコンの温度は、気温や状況に応じて設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下の窓は、常に開けておく。
マスク	<ul style="list-style-type: none"> ・原則マスク着用。ひとり学び、話をしないとき、距離が保てる時、熱中症が心配な場合は、はずして良いこととする。 ・登校後や体育の後など、外でマスクを外していても、熱中症の心配がない場合には校舎に入る前にマスクを着用する。
手洗い	<ul style="list-style-type: none"> ・登校後、掃除・トイレの後、給食の前、共有の物を触った後には必ず手洗いをする（手指のアルコール消毒は補助的に使用）。

※音楽科

- 歌唱**…原則マスクを着用し、前後左右ともに最低1mの間隔を空ける。常時換気をし、近距離での大声を避ける。
- 器楽**…楽器を使用したら手洗いをする。特に、吹いて演奏する楽器を扱う際にはマスクを外すことから、周囲との会話を避けるなど、より一層の注意を払って活動する。吹いて演奏する楽器の使用については、地域の感染状況によって対応する。

※家庭科（調理実習）

- 授業前後の手洗い・手指消毒、マスク着用、換気、十分な加熱調理を徹底する。
- 試食は、各自タッパーを持参し、教室で食べる。